



東リ株式会社

証券コード:7971



明日の地球を思うこと

# TOLI REPORT

株主・投資家のみなさまへ 第146期 第2四半期累計期間のご報告  
(2009年4月1日 ~ 2009年9月30日)

## ひとつの空間について考えることは、 そこに集まる人や、 自然環境について考えること。

快適で感性豊かな空間を提案するトータルインテリアメーカーとして、東リがお届けするのは、「365日のビューティフル」。  
人を包みこむ空間・自然・社会を見据えた、大きな視野でインテリアを考えています。



東リコーポレートシンボル  
「365日のビューティフル」

やわらかな曲線でTの字を型どったフォルムは、無限の可能性に挑戦する東リの姿勢を。美しく鮮やかなカラーは、毎日の生活を自由に描く豊かな感性を。浮かび上がるTOLIの文字は、確かな技術力と国際性を表現しています。



Curtain



Wall



Flooring

明日の地球を思うこと

株主・投資家のみなさまにはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第146期上半期(2009年4月1日～2009年9月30日)を終りましたので、当社グループの事業の概況および決算の状況などをご報告申し上げます。

### 当社グループの経営の基本方針

当社グループは、経営理念として<インテリア事業を通じて生活文化の向上に貢献する><顧客中心主義を行動規範とする><トータルインテリアのリーディングカンパニーを目指す>の3つを掲げ、事業活動を行っております。『すべてはお客様のために』を行動指針とし、住宅やオフィス、学校、医療・福祉施設、商業施設など、あらゆる住・生活空間に豊かさをご提供するものづくりやサービスに努めることで、企業価値の向上に取り組んでおります。

また、法令を遵守することはもちろん、地球環境保全にも配慮するなど社会に対する責任を果たすべく、良識ある健全な企業活動に徹し、世の中から信頼され期待される企業グループを目指しております。

## 当社グループの営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界同時不況の影響による内外需要の減少により、企業業績が大きく落ち込むとともに、個人所得や雇用情勢は厳しさを増しました。インテリア業界におきましては、設備投資の減少と個人消費の冷え込みにより、内装工事の需要が低い水準で推移し、事業環境は大変厳しい状況が続きました。

こうしたなか、当社グループは中期経営計画「変革と挑戦 2011」の初年度にあたり、技術に立脚した事業基盤の強化やグループ営業効率の向上により、収益性のさらなる改善を推し進めるとともに、将来に向けての成長力の獲得に努めてまいりました。結果といたしまして、当第2四半期連結累計期間における売上高は38,553百万円（前年同期比13.2%減）、経常損失は266百万円（前年同期 経常損失441百万円）、四半期純損失は214百万円（前年同期 四半期純損失494百万円）となりました。

当期の中間配当につきましては、インテリア業界を取り巻く経営環境を鑑み、見送ることとさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 対処すべき課題

当社グループは、中期経営計画「変革と挑戦 2011」を策定し、重点戦略目標達成に向けた取り組みを推進しております。当社グループは、業界を牽引するトータルインテリアメーカーとして、その社会的使命を認識し、お客様に快適なライフスタイルをご提案するため、きめ細かな商品展開や積極的な販売促進に尽力してまいります。中期経営計画を着実に推進することを通じ、原油価格の変動に伴う主要原材料コストの上昇や競合激化など不透明な経営環境課題を乗り越え、当社グループがさらに強靱な事業基盤を確立し、成長を加速させることが重要な経営課題と考えております。

また、当社グループは、メーカーとして、「環境保全」や「安全品質」に対する取り組みは最優先課題の一つであると認識しております。2000年1月に、人と地球にやさしい企業グループでありたい、という思いを「東リ エコスピリット」というかたちにし、さまざまな側面から真剣に環境問題と向き合ってきました。2008年8月、その「東リ エコスピリット」を改訂し、低炭素化の推進をはじめとする地球環境保全への取り組みをさらに強化することとしております。限りある資源を有効に活用しながら、人と地球にやさしい商品の研究開発に努めてみなさまにご提供していくことで、企業市民としての責任を果たし、「世の中から信頼され、期待される」企業グループであり続けるよう、努力してまいります。

当社グループは、会計をはじめとするあらゆる

業務の適正を確保することも重要な経営課題と認識し、金融商品取引法に対応した「財務報告に係る内部統制システム」を構築しております。このシステムを確実に運用することで、当社グループが行う財務報告の信頼性をこれまで以上に高め、企業経営のより一層の効率化・明瞭化とガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

柏原賢二



納入実績

エリア	物件名
北海道	マルヤマ クラス
北海道	明治北海道十勝オーバル
宮城県	三井ガーデンホテル仙台
青森県	メディカルコート八戸西病院
長野県	山田記念朝日病院
東京都	経団連会館
千葉県	千葉県警察本部新庁舎
愛知県	愛知県産業労働センター ウィンクあいち
静岡県	ららぽーと磐田
静岡県	浜松医科大学医学部附属病院新病棟
大阪府	土佐堀ダイビル
大阪府	八尾徳洲会総合病院
広島県	広島県東部運転免許センター
高知県	土佐中学校・高等学校新校舎
福岡県	九州大学 数理学研究教育棟
長崎県	済生会長崎病院

納入物件



●医療法人幕内会  
あいあい介護老人保健施設  
(茨城県)

・コレンテV 他



●長野松代総合病院  
(長野県)

・スラローム



●[学校法人鶴学園 広島工業大学  
三宅の森Nexus21]  
(広島県)

・シンクロナス



## 2009年度 グッドデザイン賞受賞

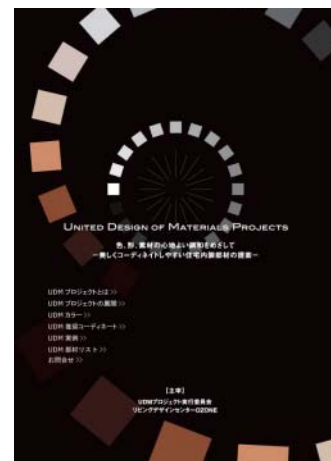
東りが参加する異業種プロジェクト『United Design of Materials Projects(UDMプロジェクト)』が、Good Design Awards 2009にてグッドデザイン・ライフスケープデザイン賞[経済産業大臣賞]を受賞しました。

UDMプロジェクトとは、住宅における様々な内装材の色や形、素材などについて「美しく調和するコーディネートしやすい新しい仕様」を業界を超えて開発検討するプロジェクトです。現在、多様な内装&設備部材が開発、供給されていますが、各社商品の色や形、素材の微妙な違いにより、適正なコストで、住宅の内装を調和させるににくい現状にあります。そこで2003年に各業界を代表する企業とリビングデザインセンターOZONE、プロメンバーが実行委員として発足し、現在では首都圏を中心にマンションインテリア計画に数多く反映されています。

東りは「白=UDMホワイト」を基準色とした壁紙を開発し、同時に東京電力(株)、東京ガス(株)、パナソニック電工(株)など各社の壁面スイッチや、大日本印刷(株)の建具などと調和させ、モダンですっきりとしたインテリアを実現しました。

今回の受賞は、その時代の感性価値の支持を得て様式に至る完成度をもった品質であることが認められたものに与えられる特別賞で、「ユーザー視点で選びやすくすることは、一企業の努力では成し得ないこと。建材の色と形における開発の標準化をシステムとして提案し、今後あらゆる分野でダイヤモンドサイドの視点でデザインプロセスを変えていく可能性を持っている」との評価を受けました。

過去4回の「コンセプト商品」「環境事業」での単独受賞に続き、今回は「生活者視点での異業種連携」というUDMプロジェクト参加企業の一員として受賞しました。東りはこれからもインテリア空間の向上を目指し、メーカーとして新しい商品開発、ソリューション提案に取り組んでいきます。



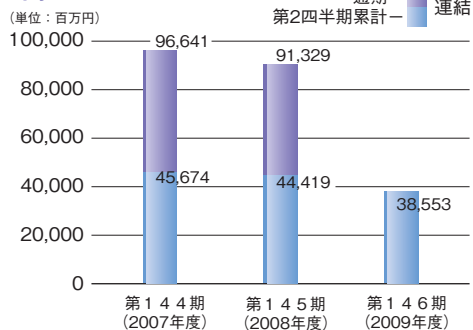


## 業績推移

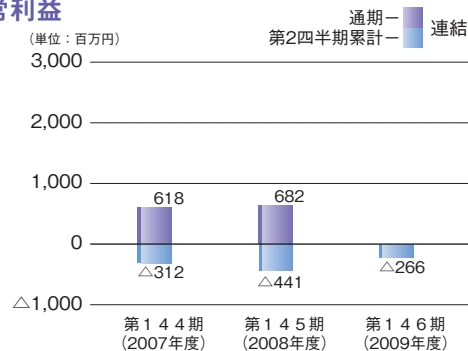
(単位：百万円)

連結	第144期(2007年度)		第145期(2008年度)		第146期(2009年度)
	第2四半期累計期間	通期	第2四半期累計期間	通期	第2四半期累計期間
売上高	45,674	96,641	44,419	91,329	38,553
経常利益	△ 312	618	△ 441	682	△ 266
四半期(当期)純利益	△ 276	152	△ 494	366	△ 214
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	△ 4.35	2.40	△ 7.81	5.82	△ 3.44
総資産	69,318	70,198	65,948	66,805	61,627
純資産	26,258	25,769	24,747	24,621	24,255
1株当たり純資産(円)	405.49	402.76	386.65	391.05	385.27

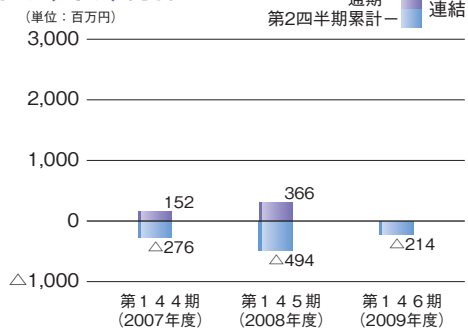
## ■ 売上高



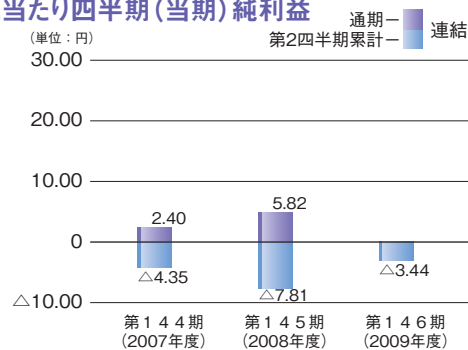
## ■ 経常利益



## ■ 四半期(当期)純利益



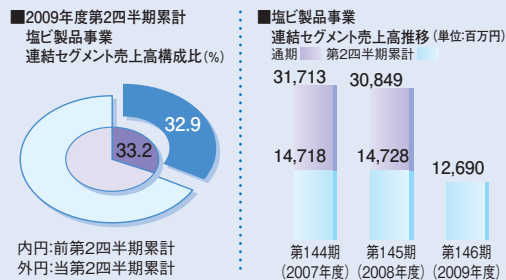
## ■ 1株当たり四半期(当期)純利益



## 塩ビ製品事業

塩ビ製品事業につきましては、モダンなストライプ柄のコンポジションタイル「リフライブ」の洗練されたデザインが高く評価されて売上を伸ばし、文教施設向けでは汎用品の長尺シートが好調に推移しました。しかしながら、商業施設のリニューアルや新築工事の減少により、店舗用の塩ビタイルやファッションシートの売上が前年同期を下回り、また、主力商品の一つであるマンション開放廊下用防滑性ビニル床シートの売上が減少しました。この結果、塩ビ製品事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は12,690百万円（前年同期比 13.8%減）、営業利益は387百万円（前年同期比 34.5%減）となりました。

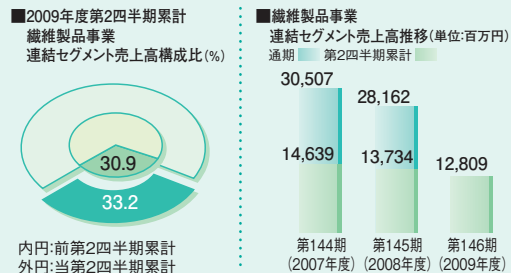
## 【塩ビ製品事業の連結売上高推移】



## 繊維製品事業

繊維製品事業につきましては、住宅着工量が低水準で推移したことから、ロールカーペットやカーテンの売上が減少しました。一方、社会における環境意識の高まりが内装材市場にも波及し、エコマーク認定やグリーン購入法適合のタイルカーペットにおいて需要の拡大がみられました。オフィス市場では景気低迷で中・高級グレードの商品は売上が減少しましたが、低価格帯のタイルカーペットは堅調に推移しました。この結果、繊維製品事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は12,809百万円（前年同期比 6.7%減）、営業利益は472百万円（前年同期営業損失 15百万円）となりました。

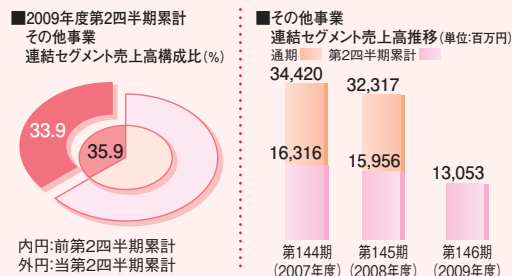
## 【繊維製品事業の連結売上高推移】



## その他事業

その他事業につきましては、天然木の表情をリアルに再現した化粧仕上材「リアルデコ」が、商業施設や医療福祉施設等において引き続き高い評価を得ましたが、一般の壁装材は住宅市場での需要の低迷により、中価格帯の商品を中心に売上が減少しました。また、建築着工量の落ち込みが影響し、販売子会社における仕入商品や工事の売上が減少しました。この結果、その他事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は13,053百万円（前年同期比 18.2%減）、営業損失は289百万円（前年同期営業損失 207百万円）となりました。

## 【その他事業の連結売上高推移】



(なお、当社グループの業績は年度末竣工物件の受注等により下半期に偏る傾向があります。)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第145期 (2009年3月31日現在)	第146期第2四半期 連結会計期間末 (2009年9月30日現在)	科目	第145期 (2009年3月31日現在)	第146期第2四半期 連結会計期間末 (2009年9月30日現在)
流動資産	40,513	35,385	流動負債	26,612	22,482
現金及び預金	5,454	5,577	支払手形及び買掛金	22,489	18,176
受取手形及び売掛金	24,767	19,326	短期借入金	940	1,240
有価証券	713	714	その他	3,182	3,066
たな卸資産	8,567	8,131	固定負債	15,571	14,888
繰延税金資産	688	853	長期借入金	9,200	8,500
その他	793	1,077	退職給付引当金	4,126	4,080
貸倒引当金	△ 471	△ 294	その他	2,245	2,308
固定資産	26,291	26,241	負債合計	42,184	37,371
有形固定資産	18,333	17,973	株主資本	23,989	23,338
建物及び構築物	6,334	6,194	資本金	6,855	6,855
機械装置及び運搬具	2,691	2,472	資本剰余金	6,488	6,487
土地	8,685	8,685	利益剰余金	11,710	11,059
その他	621	621	自己株式	△ 1,064	△ 1,065
無形固定資産	1,032	985	評価・換算差額等	383	673
投資その他の資産	6,926	7,283	<sub>1</sub> 評価・換算差額等	383	673
投資有価証券	2,901	3,407	少数株主持分	248	243
長期貸付金	267	253	純資産合計	24,621	24,255
繰延税金資産	2,078	1,881	負債及び純資産合計	66,805	61,627
その他	2,003	2,175			
貸倒引当金	△ 323	△ 434			
資産合計	66,805	61,627			

注)1.有形固定資産の減価償却累計額  
2.受取手形割引高

33,756百万円  
38百万円

34,264百万円  
27百万円



## 四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間) (単位:百万円)

科目	第145期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月1日～ 2008年9月30日)	第146期第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日～ 2009年9月30日)
売上高	44,419	38,553
売上原価	33,396	27,739
売上総利益	11,023	10,813
販売費及び一般管理費	11,396	11,040
営業損失(△)	△ 373	△ 226
営業外収益	184	166
営業外費用	253	206
経常損失(△)	△ 441	△ 266
特別利益	9	36
特別損失	187	46
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 620	△ 277
法人税、住民税及び事業税	67	104
法人税等調整額	△ 197	△ 166
少数株主利益(損失△)	4	△ 1
四半期純損失(△)	△ 494	△ 214
注)1株当たり四半期純損失(△)	△ 7円81銭	△ 3円44銭

## POINT 1

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前期末に比べ5,178百万円減少し、61,627百万円となりました。流動資産は、前期末に比べ5,128百万円減少し、35,385百万円となりました。この主な要因は、売上高が下半期に偏る傾向にあるため売上債権が減少したことによるものです。固定資産は、前期末に比べ50百万円減少し、26,241百万円となりました。株価回復に伴い投資有価証券は増加しましたが、減価償却費等により微減となりました。

## POINT 2

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前期末に比べ4,812百万円減少し37,371百万円となりました。この主な要因は、売上高が下半期に偏る影響を受けて仕入債務が減少したこと等によるものです。

## POINT 3

当第2四半期会計期間末の純資産合計は24,255百万円となり、自己資本比率は、39.0%となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	第145期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月1日～ 2008年9月30日)	第146期第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日～ 2009年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,876	2,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,013	△ 1,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 751	△ 977
現金及び現金同等物の増加額	111	73
現金及び現金同等物の期首残高	4,783	6,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,895	6,228

## POINT 4

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ13.2%減の38,553百万円となりました。設備投資の減少と個人消費の冷え込みにより、内装工事の需要が低迷したことで、当社グループ損益に与える影響は大きく、266百万円の経常損失となりました。この結果、214百万円の四半期純損失となりました。

## POINT 5

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ73百万円増加し、6,228百万円となりました。

## 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

商品販売やサービス提供など本来の事業によって、どれだけの資金を獲得したかを表しています。営業活動によるキャッシュ・フローは、2,266百万円となりました。これは、仕入債務の減少等はあったものの、売上債権の減少等がこれを上回ったことによるものです。

## 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

将来の利益獲得、資金運用のためにどれだけの資金を支出し、または回収したかを表しています。投資活動によるキャッシュ・フローは、△1,214百万円となりました。これは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出等によるものです。

## 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動と投資活動を維持するために、どの程度の資金が調達・返済されたかを表しています。財務活動によるキャッシュ・フローは、△977百万円となりました。これは配当金の支払いや借入金の減少等によるものです。

■ 当社の概要

(2009年9月30日現在)

創立 1919年(大正8年)12月1日  
 資本金 6,855百万円  
 従業員数 734名  
 主な事業内容 ・塩ビ製品……塩ビタイル、塩ビシート  
 ・繊維製品……カーペット、カーテン  
 ・その他……壁装材、床材用接着剤など

■ 本社および事業所

(2009年9月30日現在)

本社 兵庫県伊丹市東有岡5-125  
 東京本部 東京都港区東新橋2-10-4  
 工場 伊丹、厚木  
 ショールーム 札幌、東京、名古屋、大阪  
 営業所所在地 札幌、盛岡、仙台、さいたま、水戸、千葉、東京、八王子、横浜、長野、新潟、名古屋、石川、静岡、京都、大阪、神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島

■ 役員

(2009年9月30日現在)

〈 取締役・監査役 〉 代表取締役社長 柏原 賢二  
 専務取締役 藤田 佑治 \*1  
 常務取締役 吉森 忠重 \*1  
 取締役 大谷 正男 \*1  
 取締役 永嶋 元博 \*1  
 常勤監査役 福岡 隆志  
 常勤監査役 尾田 正孝  
 監査役 堀村 不器雄 \*2  
 監査役 春名 一典 \*2

(注) \*1印を付した4氏は、取締役と執行役員の兼務者であります。  
 \*2印を付した2氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

〈 執行役員 〉 執行役員 山本 正人  
 執行役員 浪花 芳法  
 執行役員 武田 松利  
 執行役員 小谷 良道  
 執行役員 鈴木 潤

● 株主×モ

決算期 3月31日  
 定時株主総会 6月  
 基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人及び  
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 (お問合せ先) 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【お知らせ】 ●株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間承っております。

・電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)  
 0120-684-479(大阪証券代行部)  
 ・ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/>

公告の方法 電子公告の方法により、下記の東リホームページに掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

ホームページアドレス  
<http://www.toli.co.jp>

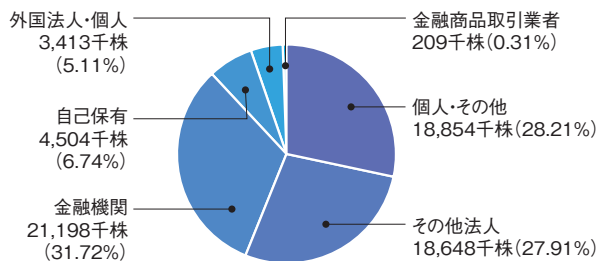
※本誌に関する注意事項

本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

■ 株式数および株主数 (2009年9月30日現在)

- ・発行可能株式総数…………… 141,603千株
- ・発行済株式総数…………… 66,829千株
- ・株主数…………… 6,369名
- ・1人当たりの平均持株数…………… 10,493株

■ 株式分布状況 (2009年9月30日現在)



■ 株価と売買高の推移 (東京証券取引所)



■ 大株主 (2009年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本生命保険相互会社	4,551	7.3
株式会社トクヤマ	2,780	4.4
双日株式会社	2,532	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,233	3.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,777	2.8
三信株式会社	1,730	2.7
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	1,695	2.7
帝人テクノプロダクツ株式会社	1,489	2.3
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,238	1.9

\* 当社の自己保有株式は、上表より除いております。  
 \* 出資比率は、自己株式(4,504千株)を控除して計算しております。  
 \* 従来は、大株主の状況について信託財産・特別勘定等を合算(名寄せ)して表示しておりましたが、当第2四半期連結会計期間末現在の状況より、株主名簿の記載どおりに表示しております。

# 東リ株式会社

<http://www.toli.co.jp>

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。



TOLI ECO SPIRIT  
東リ エコスピリット

